

# 2023年度第2回ワークショップを開催しました！

9/26 (火)  
12:50~15:00  
@蓮華亭

千葉公園通りの未来を考える / ニュースレター  
**NEWS LETTER 06**

## 第2回WSでは…

### 千葉公園通り全体の計画について意見交換

滞留部をつくる構成要素として、固定のベンチ・フレキシブルエリア(イベント時に合わせて可動イス等を設置できるエリア)・植栽が設置されることを想定し、沿道の建物の用途や普段の生活の動線等を考慮しながら意見を出し合いました。

- ・A、B、Cの3班に分かれて実施
- ・現時点での改修素案の道路形状や滞留部の要素を反映した計画図を使用
- ・付箋を使って現状の生活をする上での課題やポテンシャルを共有し、整備後の生活の様子やイベント時の活用を想像しながら意見を出し合う



第2回WS時の様子

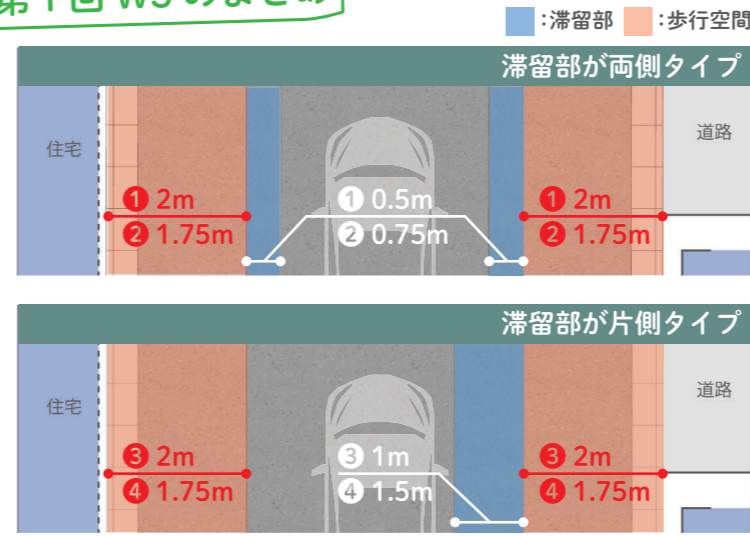
## ワークショップの意見まとめ

参加者の皆さんの意見をもとに、着目していた点をまとめました。

### ① 滞留部の位置やベンチの形状について

- ・通りの両入口には固定のベンチなどを設け、中央部はフレキシブル、植栽を中心とする
  - ・住宅前の滞留部の構成は今後検討が必要である
  - ・ベンチのデザインアイデアとしては、「横たわれないようにする」「プランターの緑が座面になる」「柵のように腰掛けられる」など
- 日常時における通り全体の滞留・通行のバランスを考慮、景観性を保つ固定ベンチのデザイン検討が必要

## 第1回WSのまとめ

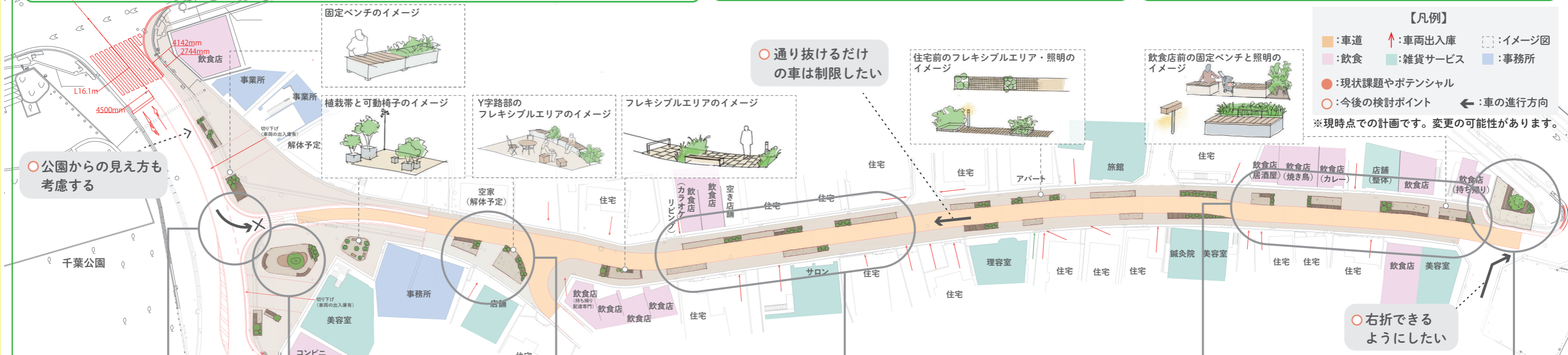


4種類の道路断面構成(滞留部の配置:2種類と歩行空間幅:2種類)を設置した場合の、道路構成としての良さや課題を議論しました。

### 【道路横断構成について】

- ・箇所に応じて、幅員を変化させ滞留部の幅を使い分ける。
- 【滞留部について】
- ・飲食店前は、日常的なイベントや荷捌きを考慮して可動式のベンチや植栽によるフレキシブルに使うエリアがあるといい。
- 【ベンチやプランターについて】
- ・ひと固まりに拠点的に配置し、大きい樹木等はまとめて配置する。
- 【その他意見】
- ・植栽プランターの維持管理(水やり等)の仕組みづくりを考えるべき。
- ・住宅前のベンチや滞留部の設置に関しては賛否両論ある。

○公園からの見え方も考慮する



【入口(千葉公園側)】

- 車両の逆走が多い
- カーブと幅員の狭まりによって、逆走防止効果がありそう

【交差点前の広い歩道部】

- 待ち合わせ場所としてよく使われる
- 固定ベンチがよく利用されそう
- 通りの入口らしくシンボルツリーがあると良い
- 進入禁止看板の設置が必要
- 車道との間に緩衝帯として植栽等を入れる

【Y字路部】

- 広いスペースが貴重
- ちこほこ時はダンス発表の場
- フレキシブルな活用ができるような設えが良い
- 滞留部とならない側は、通行重視の歩行空間としたい

【住宅が並ぶエリア】

- 大きな樹木やベンチの設置をしていく
- 固定ベンチは少なく、全体的に緑を増やす
- イベント時はイスやテーブルを設置し、日常時には落ち着いた雰囲気にする
- 植栽帯の幅員は1mより小さくても良い
- 車の出入りに干渉しない設えにする

【飲食店が並ぶエリア】

- 店舗利用の車が住宅前に駐車している
- 酔っ払いが多く、大声を出す人もいる
- 点在するよりも一体的に飲食可能なスペースを作る方がいいのでは
- 施設帯の幅員が2mあると、このエリアだけでイベントができそう

【入口(千葉駅側)】

- 高校生が滞留しているのをよく見かける
- 夜の見え方を工夫すべき
- 座って食べられる設えが良い
- 明るい空間だと印象が良くなる
- 入口部分は固定ベンチが良い

様々な意見や共通するポイントが共有される有意義なWSになりました。ご参加いただきありがとうございました！第3回WSは12~1月開催予定です。ぜひご参加ください！！

これまでウォークアブル推進を目的に「千葉公園通りホコ天」等で様々なことにチャレンジしてきた千葉公園通りだからこそできる空間を目指します。ご参加いただいた皆さまの意見を踏まえ、引き続き道路改修基本設計を進めていきます。



これまでの取組みは左記のQRコードから！

●お問合せ先  
千葉市役所 都市部 都市整備課  
TEL: 043-245-5327 FAX: 043-245-5627  
MAIL: toshinseibi.URU@city.chiba.lg.jp